

【1 豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築】

目指す社会像

豊かな食が持続的に提供されている社会

解決すべき
社会課題

- あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる（SDGsの1）
- 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する（SDGsの2）
- 農林水産業の国際競争力の強化／食料・農林水産業の生産性向上と持続性の両立（基本計画）

次期SIP
課題候補

【1 豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築】

食料安全保障やカーボンニュートラル、高齢化社会への対応に向けて、食料の調達、生産、加工・流通、消費の各段階を通じて、豊かさを確保しつつ、生産性向上と環境負荷低減を同時に実現するフードチェーンを構築する。

必要と考えられる
基盤技術、共通
システム、ルール
などの例

＜事例＞ ※次期SIPターゲット領域有識者検討会議の有識者や委託調査等で得られた事例。RFIで提案いただく研究開発テーマはこれらに限られないが、この程度の粒度での提案を期待。

- 機能性食品製造技術
- 環境負荷を低減する新品種の開発
- 持続可能で高効率な養殖システムの開発
- 高齢者向けの豊かな食の提供
- 農業従事者の技術承継、ロボット化による効率化
- クリティカルな品目の生産維持・強化
- フードロスなどの情報の見える化
- フードロスなどに対応した食料資源活用促進技術
- 全サイクルにおけるデジタル化、データ連携による食料システム全体の効率化

【1 豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築】

参考となる施策、 関連文献等

- **「Farm to Fork戦略」（2020年5月20日EU決定）**
 - EUのフードシステムの環境・気候変動フットプリントを削減し、フードシステムの自発的な回復力（resilience）を強化する
 - 気候変動や生物多様性の喪失に直面する中で、食の安全保障を確保する
 - 競争力と持続可能性の両立に向けた世界的な移行（transition）の先頭を行く
- **「みどりの食料システム戦略」（令和3年5月12日農林水産省決定）**
 - ①資源・エネルギー調達における脱輸入・脱炭素化・環境負荷軽減の推進、②イノベーション等による持続的生産体制の構築、③ムリ・ムダのない持続可能な加工・流通システムの確立、④環境にやさしい持続可能な消費の拡大や食育の推進、⑤サプライチェーン全体を貫く基盤技術の確立と連携
- **「成長戦略実行計画」（令和3年6月18日閣議決定）**
 - 農林水産業の成長産業化推進のため、通信環境整備やデジタル人材の育成等を進める。
 - みどりの食料システム戦略に基づき、生産、加工・流通、消費に至るサプライチェーン全体で、革新的な技術・生産体系の開発と社会実装を推進し、2050年までに農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現を目指す。
- **「経済財政運営と改革の基本方針2021」（令和3年6月18日閣議決定）**
 - 「みどりの食料システム戦略」の目標達成に向け、革新的技術・生産体系の開発・実装、グリーン化に向けた行動変容を促す仕組みを検討するとともに、国際ルールづくりに取り組む。
 - スマート農林水産業の実装加速化、支援サービス事業の育成等を推進するほか、農地バンクの機能強化等による農地の集約と最大限の利用、多様な人材確保と担い手育成、新たな農業・農村ビジネス展開を大胆に進める仕組みを検討する。土地改良事業や家畜疾病対策を推進するとともに、広域捕獲等の鳥獣対策を強化する。食品産業の強化に向け、自動化、データ連携等の推進、新しい生活様式に対応した業態転換等を進める。
- **「バイオ戦略2020」（令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定）**
 - 環境負荷を低減するバイオ製品の開発と市場獲得
 - 一次生産におけるスマート化・持続可能性確保と市場獲得
 - 生活習慣改善ヘルスケア等、バイオ医薬・再生医療等関連産業における市場獲得

【1 豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築】

